

### 静かに坐って自己をみつめる



理事長  
多津 大無

高校生活3カ年は、人の一生の中で最も心身の成長が著しく、人格の基礎が形成される大切な期間です。16歳、17歳、18歳を迎える3カ年に何を学ぶか、何と出会い、何に興味を持ち、何に向かって努力をするか。「静かに坐って自己を見つめる」ことが全ての原点となります。私という存在の中に、自ら学び、貢献していける嬉しい私がちゃんと居る。誰かの、何かの役に立っている私でありたい。そのためにしっかり学ぶ・しっかり鍛える・しっかりと自己をみつめる3カ年を市川高校で見つけてください。

### 新しいコースで 「もう一人の自分」に気づく



学校長  
石川 伸也

本校では、まだ発見できていない「もう一人の自分」の能力に気づき、新しいコース制を通して「確かな学力」と「生きる力」を伸ばできるようにしています。「アドバンスコース」と「キャリアコース」では、生徒一人ひとりが持つ無限大の可能性を磨いていきます。予測困難で正解のない変化に直面しても、自らの資質や能力で未来を切り拓くことができる「新しい時代の主人公」を育成していきます。「私が変われば世界が変わる」かけがえのない時期に、多様な個性を持った友人や教員と出会い、さまざまな体験や幅広い学びを通して、共に考え、悩み、感動する3年間。自分を変え、成長して「もう一人の自分」に出会える受験生を待っています。

# HISTORY

## 沿革

### 校章の意味



校章の基台の図案は数学記号の「∞(無限大)」を示したもので、無限大とは時間・空間の知的制約を超えた宇宙そのものを意味します。われわれ人間は、とかく比較相対の知的な世界にとらわれがちです。しかし、私たちは自我をなくし、自他の別なき絶対無の世界...すなわち仏の世界・心理の世界が、お互いの中に内在することを自覚・体験して、おおいなる自己に目覚めることが真の幸福であると考えています。

「高」と「∞」を組み合わせたこの校章は、高校生が真実の自己を見つめて結跏趺坐する姿をもイメージしています。

昭和		平成										令和										
34年	36年	40年	42年	56年	61年	62年	2年	4年	10年	11年	12年	13年	15年	22年	26年	30年	31年	元年	2年	2年	4年	5年
4月	4月	4月	6月	9月	6月	7月	10月	9月	6月	4月	11月	6月	5月	11月	10月	7月	2月	10月	2月	5月	4月	4月
神崎郡市川町立市川商業学校として発定	学校法人 市川学院市川商業高等学校に組織変更	校名を市川高等学校と改め、商業科、普通科を置く	水泳プール生徒寮 完成	室内温水プール(洗心館) 完成	コンピュータ室 完成	武道場(至道館) 完成	特別教室棟 完成	相撲場(百鍊道場)・テニスコート 完成	第一生徒寮(直心寮) 完成	全教室冷暖房完備	40周年記念式典開催	卓球場(急水場) 完成	グラウンド改修	50周年記念式典開催	「静慮」の導入	木造校舎解体セレモニー	体育館(全面リニューアル)	食堂・会議室棟リニューアル	校舎耐震改修工事完了	創立60周年	アドバンスコース・キャリアコース新設	地域探究クラス新設



校祖 山田 無文老大師 校父・創立者 多津 猷保